

企画展

行政文書からみた戦前の「大福山」構想



山手八幡神社



深津・塩崎神社



草戸・佐戸島小学校跡碑



川口村役場跡

期間 2012年(平成24年)12月1日(土)~2013年(平成25年)3月31日(日)

場所 まなびの館 ローズコム 3階 歴史資料室

〒720-0812 福山市霞町一丁目10-1

TEL 084-932-7264 FAX 084-928-8596

〔月曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)は休みです〕

《開催にあたって》

まなびの館ローズコム 歴史資料室では、2008年(平成20年)7月の開館以来、旧福山藩主・阿部家に関する「東京阿部家資料」や市史編さん事業に伴い収集された資料群とともに、福山市や合併各市町村の廃棄文書のうち歴史的価値のあるものを「歴史的文書」として保存しております。

さて、福山市は2012年から2013年にかけて、次のような合併に関する節目を迎えます。

- ① 1913年(大正2年)の福山町(当時)と野上・三吉2か村との合併から100年
- ② 1933年(昭和8年)の福山市と吉津・木之庄・本庄・奈良津・深津・手城・川口・草戸・佐波・神島10か村との合併から80年
- ③ 1942年(昭和17年)の福山市と山手・郷分2か村との合併から70年

そこで歴史資料室では、「**行政文書からみた戦前の『大福山』構想**」と題し、3度にわたる戦前の福山と周辺の村々との合併に関する資料を展示しております。

今回の企画展を通じて、「歴史的文書」に残された郷土福山の歴史と風土、先人たちの足跡を感じていただければ幸いです。

2012年(平成24年) 12月 1日

歴史資料室

※「**大福山**」とは…

1933年(昭和8年)の福山市と周辺10か村の合併の際に、当時の新聞や雑誌で用いられた用語です。大正から昭和にかけて、都市や企業が合併・編入・統合などによって大規模になることを「大〇〇」と表現することがあり、その一つといえます。